

授業科目名	保育内容「人間関係」指導法	担当教員名	石村 万寿美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 人間関係 / 保育内容演習
必修・選択/単位数	必修 / 1単位（15時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 後期（4期） / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 ※「保育内容演習」の指導内容を含む
授業の概要及び全体目標	幼児教育の目的と領域の関係性や環境を通しての教育、そして領域「人間関係」と他領域との関係を学ぶ。事例と理論を関係づけることから、幼児期における人とのかかわりの発達をみつめ、支え、広げ、深める保育者の役割について事例研究を通して学ぶ。 ※ICTの活用、協働学習を含む。		
到達目標	<p>(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 ②領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ④領域「人間関係」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤領域「人間関係」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>		
テキスト	「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」岩立京子編（萌文書林）		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）		
成績評価の方法	○理解度・到達度チェック(筆記形式);40% ○課題(レポート、指導案等);20%、コメントシートの提出(毎回);20%、平常点(授業意欲、態度等);20%にて総合評価		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシート(受講カード)を提出。 オフィスアワー 木曜日 15:00～16:00 (306・510研究室)、金曜日 16:30～17:30 (306・510研究室)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	④遊びのなかの人とのかかわり ・遊びと子どもの育ち ・遊びの発達と人間関係 ・遊びのなかの友だちとのかかわり	(1)-④,(2)-①	
第2回	④遊びのなかの人とのかかわり－事例研究を通して、子どもにとって仲間とはどんな存在なのかを理解 ・遊びのなかで共有すること	(2)-①,(2)-②	
第3回	④遊びのなかの人とのかかわり－事例研究を通して、子どもにとって仲間とはどんな存在なのかを理解 ・遊びのなかで共有すること ・遊びをつくる	(1)-②,(1)-④,(2)-①	
第4回	⑤生活を通して育つ人とのかかわり ・親(保護者)とのかかわり ・家庭生活を通しての価値やルールの学び ○理解度・到達度チェック(筆記形式)	(2)-③,(2)-④,(2)-⑤	
第5回	⑤生活を通して育つ人とのかかわり－模擬保育を通して、子どもが人とのかかわりを積み重ねる経験について考察 ・家庭生活を通してのきょうだいや祖父母とのかかわり ・園生活と人とのかかわり	(2)-①,(2)-④	
第6回	⑥個と集団の育ち ・1人ひとりを理解する ・個と集団の関係 ・共同性を育む	(1)-②,(2)-①,(2)-②,(2)-⑤	
第7回	⑦人とのかかわりを見る視点－事例研究を通して、子どもの育む保育と補助についての理解 ・人とかかわりの基盤となるもの ・自立心、共同性、道徳性、規範意識の育ち	(1)-②,(2)-①,(2)-②,(2)-③,(2)-⑤	
第8回	⑧幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 ・人とかかわりを育む幼児教育の今日的課題 ・人とかかわりを育てる保育者のさまざまな役割 ※情報機器あるいは視聴覚教材の使用 ○理解度・到達度チェック(筆記形式)	(1)-②,(2)-①,(2)-②,(2)-③,(2)-⑤	